

2011 年度秋学期  
学生による授業評価アンケート結果の評価

学部全体

1. 教員に対する評価も、学生自身に対する評価も高く、概して良い授業が提供されていると理解できる。
2. 授業時間外の学習時間に、各授業について ACTS-ES では週平均 2.3 時間以上であるのに対して、他の課程ではかなり多くの授業が 1 時間に満たない。平均は、1.09 時間以上と、前学期の 1.16 時間以上を下回っている。
3. 個々の項目と学生からの意見については、それぞれ対応して頂きたい。

コアカリキュラム・教養科目

秋学期にはコア科目 2 科目が教えられ、それぞれ履修者より高評価を得ている。一般教養科目は、伝統的な一般教養科目以外に、語学やコンピュータ関連科目、更には神学、福祉、音楽まで幅広く網羅されている。全体的に履修者による評価は高く、その点に関して特筆すべき事は少ない。ただ一部の語学、及び音楽科目以外のクラス外学習時間は平均して短く、今後は、宿題の増量や、グループ・プロジェクト実施等によるクラス外学習の時間増を目指す取り組みが必要であろう。

神学科

神学科の授業は、春学期に続き全体的に学生からは高い評価があったが、いくつかの授業で教材と教材の用い方、進み具合などに関し不満の声が上がっている。

国福学科：キリスト教福祉学専攻

福祉専任要員の教育への評価は昨年同様に、よい評価を得ている。ただ、非常勤教員には教材の点でまだ課題を残しているため、今後の検討としたい。

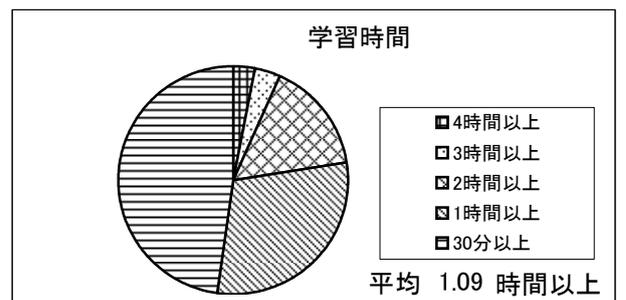
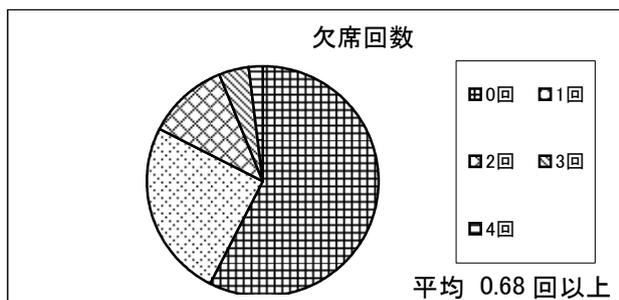
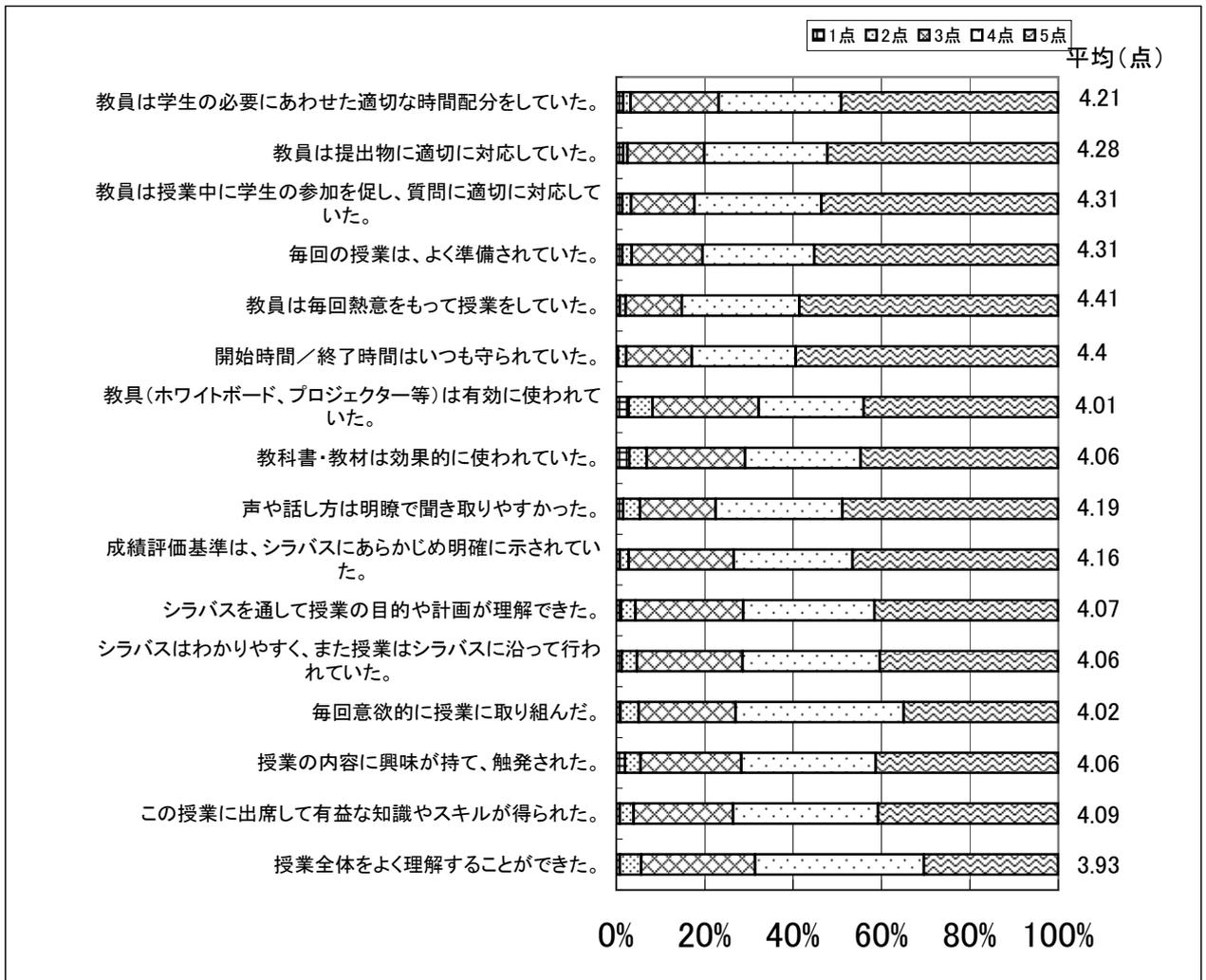
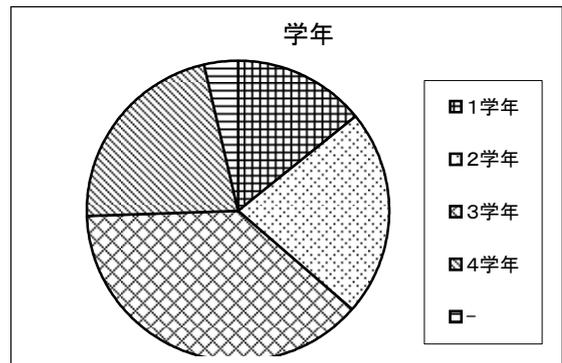
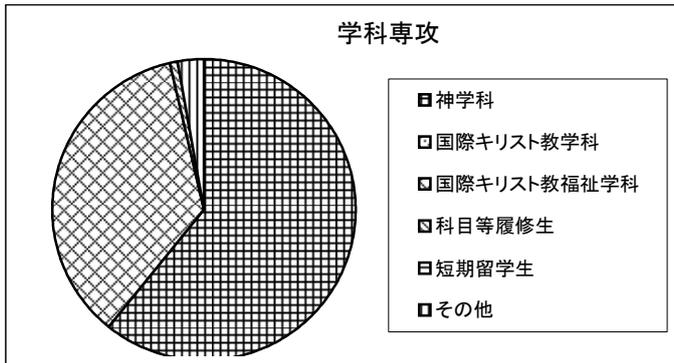
国福学科：国際キリスト教学専攻

総じて学生の授業に対する評価は高く、特に問題を見出すことはできなかった。

2012 年 1 月 10 日  
FD 委員会

# 2011授業評価アンケート結果

学期 秋学期  
科目名 日本語提供科目総合



# 2011授業評価アンケート結果

学期 秋学期  
科目名 Acts-es提供科目総合

